

<VOL203.2024.11>

もりおかクラブ事務所：〒020-0021 盛岡市中央通3-7-18 ラ・パルク中央 1階 Tel 019-623-1575 盛岡YMCA内
盛岡YMCA HP <http://www.ymcajapan.org/morioka/> 検索エンジンワード「盛岡YMCA」

11月の聖句 ローマ人への手紙 12章12節

「望みをいだいて喜び。患難に耐え、常に祈りなさい。」

「主題」

国際会長	シャナヴィスカーン(インド)	「より良いコミュニケーション」
アジア太平洋地域会長	利根川 恵子	「太陽の輝きと笑顔」
東日本区理事	山田 公平(宇都宮)	「ワイズの方向性を見極める」
北東部長	大久保知宏(宇都宮)	「クラブのミッションを育てよう」
もりおかクラブ会長	長岡 正彦	「リーダーの志を、全力で支えよう」

会長	長岡 正彦
副会長	山口 貴伸
書記	濱塚 有史
会計	大関 靖二
担当主事	東森 聡(たもり)
メネット	井上 優子

令和2024年12月クリスマス例会
日時、場所 12月8日(日)
18時～20時(第2日曜日)
Red Apple レッド アップル 南大通1-10-8
会費4,000円
1,000円程度のプレゼントをご用意ください。

会長巻頭挨拶



長岡会長

みなさまこんにちは、長岡でございます。
今月15日～17日にかけて日本YMCA同盟主催の「日本YMCA大会」に出席してきました。場所は御殿場の東山荘、富士山は時々山頂が見えるくらいの天候でした。

この中で、ものすごく嬉しい瞬間がありました。全国各地のYMCAの日本一自慢コンテストがあり、我が盛岡YMCAが強豪乱立、全国の大規模YMCAを押しつけて日本一になりました。事前の濱塚総主事の話では、「コンテストの日本一より実際の活動を充実させていこう。」話をしておいたとの事。コンテストのプレゼントにパワーを置かず実活動に力点を置きましょうという事でしょうか。そんなアピールでも日本一になりました。思わず手を叩き表彰式の写真を撮るべく最前列の客席のさらに前に位置を移動している私がありました。

今月は定例会に、大久保北東部長が来盛して、懇親会を開催しております。ゲストに程海薇(ていかいび)さんを迎えて楽しい時間を過ごしました。いよいよ寒くなってきました。皆様、風邪などひかず健やかに過ごしてください。

11月定例会の報告

2024年11月16日(土)、居酒屋「轍」で開催。参加者、三田、長岡、濱塚、千葉、シンディ、山口、シンティア、井上優子(敬称略)以上8名。

ゲスト、大久保知宏北東部長、程海薇さん、盛岡在住中国国籍、ゲストリーダー、滝澤里菜さん(ぐら)、加藤瑞基さん(DD)、渡邊夏生さん(チューバ)、野崎はなさん(はなまる)4名、全14名の出席でした。

北東部長の大久保さんを招いて10月定例会を懇親会で開催しました。今後の日程などを確認して、懇親会の開始です。わざわざ北東部長が来盛したのは目的があると想像していましたが一通りアルコールが回ったところで、ストレートに「期北東部長をもりおかクラブにお願いしたい。」と依頼されました。先の北東部会でもさりげなく打診されていたので、断る理由がありません。会員の皆様の意見も聞かず、部長職を承りました。具体的には三田メンが部長になります。三田メンよろしく願います。そして今日のもう一人のゲストは程海薇(ていかいび)さんです。シンディのハロウィーンパーティーで知り合い、外国人が交流できる場所や助け合う場所を求めて活動してきたようです。内

容的にはシンディのサークルオブフレンズのようなものでしょうか、住宅問題では、山口メンとの関係がベストでしょうか。YMCAの支援団体であるワイズメンズクラブとも良い関係が築けそうです。クラブの入会が期待されます。この夜、県大の焼きそば利益をチューバに渡して終了しました。

楽しい夜の時間はあっという間に過ぎます。ゲストのリーダー達のお腹も満たされたようです。懇親会例会はお開きです。



チューバへ焼きそば利益進呈



程さんとみけさん

「ズイテン盛岡DAON」

もりおかクラブの状況報告

11月の出席率	7/15	40 %	ゲスト6名	メネット	1名		
メーキャップ	0名			10月切手	0g	累計	179g
11月のにこにこ	0円	累計	0円	富士宮焼きそば	0円	累計	5万円
11月 石鹸	0円	累計	0円	りんご	0円	累計	0円
11月 献金	0円			ファンド合計	円		

会費の納入をお願いいたします。岩手銀行 松園支店(店番号 082)普通口座 2145674

もりおかワイズメンズクラブ 会計 大関 靖二

10月のハッピーバースディ 全国のワイズメンの皆様、誕生日おめでとうございます。

第23回 日本YMCA大会



11月15日～17日に第23回日本 YMCA 大会が、御殿場東山荘にて開催されました。盛岡からは、魚住理事長、濱塚総主事、長岡理事、リーダー会から4年生を中心に15名が参加。有意義で内容の濃い大会になりました。

大会を通してのテーマは、2030年どのようなYMCAにしたいか、そのために今初めている事、今後の取り組み、各地のYMCAが発表をして小さなグループでさらに話し合い、自己啓発目標を紙に書いて壁に貼り付け、参加者の意見を全員で共有しようとの取り組みでスタートしました。

実行委員会には、盛岡の「しらたま」がいます。先乗りで準備をしていました、ご苦労様です。頑張っていましたね。

特に印象に残っているのは、地球環境の問題です。化石資源の石油石炭。化石資源からは特に問題になっているペットボトル、プラスチック製品、これらをごみとして処理できればまだましで、



環境に捨てることにより、内陸から海へ流れて行き、やがてマイクロプラスチック変わり、その後海洋生物の生態を破壊し続けるという事実、これは最近その証拠が確認できています。産業革命後のエネルギーの消費が環境を破壊。二酸化炭素が急激に増えたことにより、現在は温度上昇が地球規模で進行、異常気象が世界各地で自然災害として人類を脅かすようになりました。

今、人類は二酸化炭素の排出を抑制して、温暖化を食い止めなければなりません。自然環境が吸い込むことが出来る二酸化炭素以上の排出を人類が続ければどんどん環境悪化が進んで

いきます。さらに、永久凍土に眠っているメタンが温暖化により解放するとCO2の増加など問題にならないくらいの温暖化が進むそうです。そうなれば人類は現在の生存域では生活が出来なくなり、都市を根本から作り直しが必要となり現在のインフラは使い物にならなくなります。具体的に現在の何がいけないのか。これから何をしなければいけないのか。大いに議論をし、未来に生きる子々孫々に生きやすい環境を残すことが出来るのか。

テーマが大きすぎて一握りの人間の話し合いでは結論や対応策など考えても、実行に移しても、環境が改善できるわけがありません。それでも果敢に考え、行動していくのが我がYMCAであると考えます。私たちもYMCAと共に立ち上がりましょう。

テーマが大きすぎて一握りの人間の話し合いでは結論や対応策など考えても、実行に移しても、環境が改善できるわけがありません。それでも果敢に考え、行動していくのが我がYMCAであると考えます。私たちもYMCAと共に立ち上がりましょう。

全国Yの「日本一」自慢

～もう始めています！世界YMCA Vision2030～

2日目の午後から始まった、全国各地のYMCAをリーダー達が紹介して自慢を競う催しです。現在の取り組みから発展して2030年にはこんな素晴らしい未来が見えるよ。というコンテストがありました。

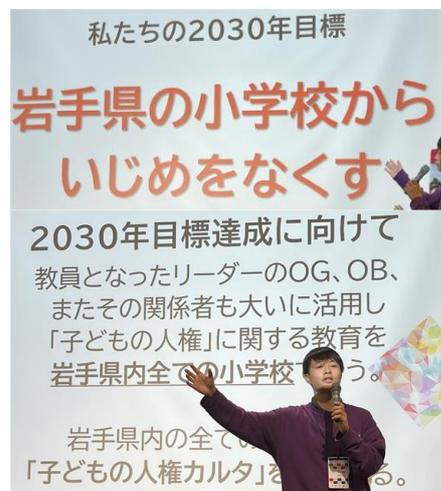
ジャジャジャジャ〜、なんと盛岡YMCA作成「子供の人権カルタ」を普及させて、岩手県から「いじめをなくそう」という取り組みがグランプリを受賞。日本一の称号とともに表彰されました。

思えば、畠山メンが例会ゲストの卓話で「人権とは」、とお話を受けて私たちは人権の意味を心に刻み、この後ウェルネスの子供達への態度や行動が常に「子供の人権を侵さないように」と行動が変わったのを覚えています。リーダー達はさらに発展して子供達から「人権標語」を募集して子供たちが普段どう思っているのか調査を行いました。その標語の中から感動したものを表彰しました。「これは！、もしかしてカルタができんじゃね？」リーダー達は閃きました。リーダー会の中に「子供の人権カルタ委員会」の発足です。ここから、リーダー出身高校の美術部に標語に合う絵札の作成を依頼、着々と絵が集まりました。もちろん絵心があるリーダー達も絵を供給しました。試作のカルタが完成してお披露目会を行ったのが1年半前です。印刷会社に印刷を発注してりっぱな物を作ろうとしたとき、「お金が無い」どうしましょう。

彼らの頭に閃いたのが、「富士宮焼きそば」でした。ワイズのファンドで行っている富士宮焼きそばをリーダー会で営業して資金を作ろう、お見事な発想です。もちろんワイズは全面協力です。ワイズのファンドをカルタ委員会に提供してきましたが、もっと多くの資金が必要でした。迎えた2024年、チャリティーランでの焼きそば販売、さんさ踊りでの焼きそば販売、盛岡大学での学祭の模擬店、機会を逃さず、焼きそばで資金を集めました。

「子供の人権カルタ」がきれいな箱に包まれて一般の皆様の前にお披露目できました。

「子供の人権を守る」とは、とりも直さず「いじめの撲滅」です。



ジンベエ熱弁、がんばれ〜

を救ったのが「ジンベエ」説明の文言は媒体の準備は全くなく、ジンベエの頭の中だけで完成していました、いや本番直前まで完成には至っていなかったかもしれません。彼の漫才で培った語りの能力は、本番でいかに発揮、おもしろおかしく重厚なテーマを、歴史を交えて見事に会場やオンラインで参加の皆様

今回のプレゼンテーションはカルタを通していじめをなくそうというテーマで制作されました。事前に作っていた資料はインパクトがないという事で、前日の夜から、すべて作り直しました。パワーポイントが完成したのがコンテスト直前、説明文の吟味まで時間がありませんでした。このピンチ

に伝わりました。アピールタイムが厳粛に管理されているプレゼンテーション。ラスト1秒で、「いじめを無くすぞ〜」の絶叫が会場を席巻しました。

各地のYMCAの発表が終わり、審査の投票が始まりました。1人3票のピンポン玉を良かったと思うYMCAの投票箱に入れます。オンライン参加の方々も含めて投票が終わりました。発表は明日の午前中です。発表まで一切の事前情報は漏れてきません。どこが優勝したかは全くわからないまま。司会者が準グランプリの発表です。「名古屋YMCA準グランプリ」今年の優勝YMCAです。子供の居場所を作って運営していこう。のアピール。ん〜、やはり強敵でした。大都市のYMCAはおしゃれで、カッコいいです。盛岡届くか〜。

グランプリの発表です、「盛岡YMCA、いじめの撲滅」、正面のスクリーンに映し出されました。「よし、」と思いきり手を叩いて、カメラを持って客席最前列の前に移動、喜びのリーダー達の写真を撮りまくりました。この大会でこんな感動が待っていたとは思ってもよかったです。ありがとうございます。改めて、君たちは「もりおかワイズのめんこちゃんです。」かわいいです。君たちにしてあげられる事はなんでもしてあげるよ。ほんとうにありがとう。

現場にいた長岡はほわほわ状態になり、次男が甲子園出場を決めた瞬間以来の、ほわほわを味わいました。本当にありがとうございました。そしておめでとう盛岡YMCAリーダー会。



みなさん、私たちやりました。日本一、グランプリです。

この後の、インタビューで「盛岡YMCAの団結と組織力で勝ちました。」とジンベエは応えましたが、そんなもんで1等賞を取るのは甘い。内容と、アピールだよ。冷静に振り返っても盛岡



YMCAは会場のすべての人たちを魅了して引き込みました。得点の具体的発表はありませんでしたが、他のYMCAを圧倒的に引きはなしてのグランプリだったと聞きました。

と聞きました。

ジンベエ(前川優太さん)の大会参加の感想

3日間すごく楽しかったです。普段は関わることの無い全国のリーダーや講師の方のお話を聞いて、今まで以上にYMCAの存在意義を感じました。これから盛岡YMCAリーダー会、2030年までに何ができるのか考えて行きたいと思えるきっかけになりました。

反戦歌について思う事

盛岡 YMCA のギター同好会は今年のワイズクリスマス例会で発表する楽曲にジョンレノンの「ハッピークリスマス」を選びました。まぎれもなく反戦歌です。この曲の歌詞に

『And so happy Xmas For black and for white For yellow and red ones Let's stop all the fight War is over! If you want it War is over! Now!

とても幸せなクリスマス 黒でも、白でも、黄でも、赤でも止めよう全ての争いを 争いは終わる 君の願いで 今、争いは終わる。』

と歌われています。ベトナム戦争が泥沼化した1971年にジョンが作った反戦歌です。日本のフォークシンガーも多くの反戦歌を発表してきました。ミュージシャンは歌で戦争をやめると主張してきましたが、多くの人は歌詞の内容を理解せず、聞き流しています。今こそ戦争を放棄する勇気をもって反戦歌を歌う時ではないですか。

YMCA大会のゲスでウクライナからの避難民の男の子が来ていました。彼は戦争が始まった時「人を殺すことはできない」と思い、ウクライナから非難することを選択して日本にたどり着いたと言っていました。当時17歳、出国を制限される18歳未満でした。周囲からは「国を守らずに逃げるのか」と心無い言葉も受け

え！、これも反戦歌？「童謡 里の秋」

秋が深まり、栗の実が落ちる音に明日の栗拾いが楽しみになる夜更け。ふっと、思い出す誰でも知っている里の秋。この歌は昭和16年に作られた歌で、戦争に行った父親の無事を祈りながら、自分も大きくなったら兵隊になり、国を守るという歌のようです。4番の歌詞は「大きく、大きく なったなら 兵隊さんだうれしいな ねえ、かあさんよ 僕だって かならずお国をまもりまします」だったようです。戦後 NHK が4番を削除して3番の歌詞を少し変更して現在の歌詞でラジオ放送したとの事です。

編集後記

歓迎会の楽しい記事から始まり、YMCAで感じた地球環境の大問題、リーダーの日本一獲得と、楽しいブリテンを書いてきて、4ページ目は、反戦という心が沈む記事にガラッと変わり、あの童謡も反戦歌だったという、皆様からは「それは、違う」とお叱りを受けそうな事を書きました。ブリテン週間は日によって気分が変わりますので、記事の内容とか精神状態の変化が自分でもどうなってんの？と編集後記を書く時に思います。今月もかつてなブリテンになってしまいました。

現在11月30日、午前4時です、雪が降ってきました。里にも冬将軍の進撃が始まりました。冬将軍がどんなに戦いを挑んでも、逆に冬を楽しんじゃえ。という気分になってきました。クリスマスまで一気に世の中は浮かれ行き、お正月がまっています。来月は1年、納の月になります。今月も何とかブリテンを発行して月を越せそうです。

ところで、練習中のハッピークリスマスですが、今までこんなコードは抑えられないと思い敬遠してきたギターコードに挑戦して、なんとか演奏できそうです。この年齢でギターシーンに復帰する

たと話していました。国家間の戦争で1個人の意思を踏みにじられている国民は多く存在していると思います。

ウクライナ戦争について、ウクライナ、ロシア、双方から見た事情は前回のブリテン記事で紹介しました。2014年ロシアがクルミア半島に侵攻して一方的にロシアに併合してしまいました。当時からウクライナは親ロシア派とウクライナ正規軍との間で内戦状態でした。そこにロシアが付け込み、一気に占領したのです。ウクライナ正規軍はほとんど抵抗もせず撤退しました。たぶん、ウクライナは単独でロシアと戦争できる国力は無かったのでしょう。2022年からの戦争は、NATOからの軍事支援でウクライナは戦い続けています。

今こそ反戦歌を歌いましょう。War is over! Now です。歌は小さな抵抗でしかありません。でも、反戦の意識を忘れないよう、未来を生きる子供達に平和な世界を送るために大人は頑張らなければなりません。「子供の命を全力で、大人が守ること。これが自由と名の力さ」、時代遅れのロックンロールの歌の一説です。

もしもウクライナ戦争で核兵器が使われたら、吉田拓郎が歌う「夏休み」の世界が、広島、長崎に続いて地球上に広がってしまいます。そんなことが絶対あってはなりません。反戦歌をうたいましょう。

静かな静かな里の秋 おせどに木の葉の落ちる夜

ああ、母さんとただ2人 栗の実煮ている囲炉裏端
明るく明るい星の夜 鳴き鳴き 夜鶯の渡る夜は
ああ とうさんのあの笑顔 栗の実食べてはおもいだす
さよならさよなら南方の島 船に揺られながら帰ってくる
ああ父さんよご無事でと 今夜も母さんと祈っている

双葉百合子の岸壁の母をも、思い出させる歌詞です。この歌も反戦歌のような気がします。みなさんはどう思われますか。反戦歌ですよね。

とは思ってもいなかったので、濱塚メンには感謝しかありません。これからも、リーダー達と楽しく演奏できるのをうれしく思います。



ジンベエ熱弁の1コマ、この子はすごかった。



雲からこちらを覗いている富士山、覗くエッチ